

第383回三木市議会定例会 市長 閉会あいさつ

令和6年9月30日

閉会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

先日の石川県能登半島を中心に発生した豪雨災害により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げます。被災地の一刻も早い復興を心からお祈り申し上げます。

このたびの定例市議会におきましては、去る9月2日の開会以来29日間にわたり、新たな電子申請システムを導入し、運用を開始するに当たっての条例改正や、土地改良事業補助金制度の見直しに伴う条例改正等の案件に加え、市制施行70周年記念事業の一環として、全国ネット地上波テレビ番組とタイアップし、本市の魅力を全国へPRする取組のほか、本年5月の豪雨により被災した道路や農地の早期の復旧など、緊急を要する経費についての補正予算、その他人事案件などについて、ご審議をいただきました。

議員の皆さまにおかれましては、終始ご精励を賜り、本会議並びに各常任委員会において、それぞれ慎重なるご審議を尽くされましたことに対しまして、敬意を表する次第です。

おかげをもちまして、このたびの市議会に提案いたしました議案につきましては、適切なるご決定を賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。

なお、「令和5年度各会計決算の認定」に係る議案につきましては、別途、決算特別委員会において、引き続き審査をいただくこととなりました。

委員の皆さまには、十分なる審査の上、認定をいただきますようお願い申し上げます。

本日ご承認いただきました補正予算により、朝日放送テレビとタイアップし、全国ネット地上波テレビ番組「新婚さんいらっしゃい！」で本市をPRします。市民や三木にゆかりのある夫婦に出演いただくとともに、市内のスポットや地域資源の紹介など本市の魅力を広く全国に発信してまいります。

さて、来月26日には、市制施行70周年記念事業「三木の祭り屋台大集合」を開催します。市が誇る文化資源「祭り屋台」30基が一堂に集い、交流し、70周年を市民の皆さまとともに祝いしたいと考えています。この事業は、市制施行50周年に初めて開催し、60周年、70周年と10年に一度、周年をお祝いする事業として開催しています。祭り屋台を一斉に担ぎ上げる「総練り」は、勇壮で、圧巻です。コロナ禍を経て、地域コミュニティや人と人とのつながりの重要性が再認識されており、これらをさらに深める機会でもあると考えています。また、今回は体験イベントを実施し、祭り屋台になじみがない子どもや大人も祭り屋台を担ぐ体験をしていただくことで、地域の文化に触れるとともに、地域への誇りを深める機会とします。市制施行70周年を全市を挙げて盛り上げ、祝うことで、未来へとつなぐ持続可能なまちづくりを推進し、「誇りを持って暮らせるまち三木」の実現をめざします。

さらに、市制施行70周年記念事業として、第一生命保険株式会社明石支社との共催で実施しています「みき地元川柳2024」について、優秀作品を選んでいただく投票を明日から開始します。市内外の方々から応募いただいた、三木の自慢できるところ、三木の好きなどころなどをテーマとした585作品

から28作品を選び、投票を行います。いずれも三木への思いや愛情があふれる作品で、読むと思わず笑顔になります。多くの方々に投票いただき、三木の魅力やいいところを再発見していただく機会とします。11月下旬頃には、優秀作品を発表しますので、楽しみにしてください。

今月27日には、三木を応援する方々から多くの寄附をいただいている「ふるさと納税」の返礼品として、全国で初めて、水素の提供を開始しました。本年2月に市内で水素ステーションを開設したネッツトヨタ神戸株式会社との連携により実現したもので、同社の水素ステーションにおいて、三木市産水素を返礼品として充填することができます。水素は、利用時に二酸化炭素を排出しないため、クリーンなエネルギーとして注目されており、地球温暖化対策につながるものです。加えて、大阪ガス株式会社が提供する「関西お出かけ納税」とも連携することで、スマートフォンで寄附をすると、その場で返礼品として水素の提供を受けることができる仕組みとしています。魅力ある返礼品により、ふるさと納税の更なる推進を図ってまいります。

朝夕はめっきり涼しくなり、昼夜の寒暖差が大きい季節とな

ってまいりました。

議員の皆さまにおかれましても、くれぐれも健康にはご留意
いただき、引き続き、市政の発展のためにご活躍くださいます
ようお願いを申し上げ、閉会のあいさつといたします。

ありがとうございました。